

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育指導法	1	通年	演習	2	大迫 千佳子

○授業の到達目標及びテーマ

- ① 保育方法の基礎理論を学び実践を理解する。
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現を図る保育の方法の在り方について理解する。
- ③ 子どもを受容し、安心感を育てていくような保育方法と技術を身につける。
- ④ 手遊びや歌遊びを身につける。
- ⑤ 指導計画の意図を理解し、自ら計画した保育内容の記述を身につける。

○授業の概要

授業は通年で進める。前期では教育の方法論として幼児教育と保育等の基礎的な理論、遊びを通しての総合的な指導方法など保育を構成する基礎的な要件の理解に取り組む。後期では、発達に応じた保育のありかた、保育の計画、実践、評価等で教育の技術を身につけると共に情報機器及び教材は、遊びの調査、指導案作成、保育記録作成等において随時活用して基礎的な能力を身につける。

○授業計画

第1回：オリエンテーション 授業の目的及び評価方法の理解

【事前学修】シラバスで授業の概要や教科書を確認し、学びへの意欲を高める。

【事後学修】保育技術には、どのような資質があるのかを考え、プリントにまとめ提出。

第2回：保育方法とは何か（保育方法とは）

【事前学修】授業テーマについて、配布資料を確認しながら演習を交え学びを深める。

【事後学修】講義内容をノートにまとめる。演習課題についてグループでの意見交換

第3回：保育方法のポイント

【事前学修】授業テーマについて、配布資料を確認しながら演習を交え学びを深める。

【事後学修】講義内容をノートにまとめる。演習課題についてグループでの意見交換

第4回：園内における行事の必要性

【事前学修】プリント課題を提出し、保育内での行事活動の意図と方法を学ぶ

【事後学修】授業テーマについて、グループ討議内容を発表し知識を深める。

第5回：環境を通じた保育の方法（環境構成の工夫・DVD視聴）

【事前学修】教科書に目を通し、保育活動において環境構成の重要性を実践するための計画・DVD視聴

【事後学修】実践活動の振り返り（ねらい・計画・考察）

第6回：子ども理解にもとづいた保育方法と評価

【事前学修】教科書に目をおし、子どもとの関わりは子どもの内面の理解が基盤であることに気づく

【事後学修】製作活動から、子どもの内面に気づきを得て個々に応じた保育の方法を考える。

グループ活動と報告（DVD視聴）

第7回：保育の方法「こんなときどう関わる？どう保育するのか？」

【事前学修】事前課題に取り組み授業に向け準備する。

【事後学修】製作課題に取り組み、発達に沿う計画を探りグループ発表で方法について意見交換をする。

第8回：子どもの内面に迫る保育の方法

【事前学修】教科書に目を通し、子ども理解を深める。

【事後学修】保育日誌及び指導計画の記述の方法を参考資料で細かく確認する。

第9回：保育の計画・実践と評価（指導案を書いてみよう）

【事前学修】指導計画記述方法資料を確認する。文章の正しい表現をプリントから確認しておく。

【事後学修】季節の行事をテーマにして、ねらいと目的を明確にさせた指導案を書く。

第10回：保育の計画・実践と評価（保育活動の導入とは）

【事前学修】保育活動の導入の必要性を理解する。

【事後学修】保育活動前の導入の方法をグループで発表する。

第11回：保育の計画・実践と評価（保育活動後の評価の意図）

【事前学修】保育実践を行った結果、自己評価からの改善策を考える。

【事後学修】振り返りを記録にして、次の活動内容の改善をグループで発表する。

第12回：子ども理解に基づいた保育の方法と評価

【事前学修】教科書「養護的な関わりが保育の基盤になる」に目を通す。

【事後学修】授業の学びをノートにまとめ、養護的な関わりを具体的にグループ討議する。

第13回：養護と教育が一体となった保育とは

【事前学修】養護と教育の内容課題に取り組む

【事後学修】課題を教科書や授業内で確認する。

第14回：子ども理解における「ふさわしい生活」と「望ましい生活」

【事前学修】教科書に目を通す。

【事後学修】DVD視聴から、テーマや課題に沿ってグループ検討と発表

第15回：前期まとめ（保育の基本・子ども理解と心理・主体性保育）

【事前学修】課題予告の学習を進める。

【事後学修】小テスト実施と評価

第16回：保育の方法「実技発表：スケッチブックシアター」

【事前学修】課題製作と実技のデモンストレーション

【事後学修】実践と評価 改善の工夫と方法を考える。

第17回：0、1、2歳児の発達に応じた保育の方法

【事前学修】初めての保育園生活をおくる乳児への配慮をテーマにプリント予習

【事後学修】動画を鑑賞し、乳児の心身の発達を理解し豊かに過ごすための保育の方法として演習を行う。

第18回：0、1、2歳児の発達に応じた保育の方法

【事前学修】課題「乳児へ向けた遊びの方法」指導案記述（目標とねらいを考える）

【事後学修】演習（グループ発表）テーマに沿った準備に取り組み発表

第19回：0、1、2歳児の発達に応じた保育の方法

【事前学修】園生活において、事故と安全について教科書に目を通す。

【事後学修】安全対策とヒヤリハットの意味を理解し、テーマに沿ったグループ討議から発表

第20回：遊びを支える保育者の役割

【事前学修】遊びの中で生まれる葛藤とは、どのような状況でできるのかをプリント学習

【事後学修】養護を基盤とし遊びが学びになる保育の方法・非認知能力を育む保育の方法を理解する

第21回：5領域、「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

【事前学修】各種指導要領総則に目を通す。

【事後学修】5領域と3つの視点を基本として計画され、幼児が主体となった活動に繋がる保育

第22回：遊びを通した保育の方法（子どもが遊ぶということ）

【事前学修】子どもの思いにつながる遊び（手遊び・集団遊び・製作遊びの実践）

【事後学修】遊びの活動を計画し、取り組み後の気づきと振り返り

第23回：遊びを通した保育の方法（子どもが遊ぶということ）

【事前学修】遊びを支える保育者の関わりと子ども理解

【事後学修】折り紙製作で遊びを發展させ、取り組み後の振り返りと幼児の発達の理解と支援方法

第24回：個と集団を活かした保育の方法（保育における個と集団）

【事前学修】教科書に目を通し、課題学習を進める。

【事後学修】DVD視聴（グループワーク意見交換・発表・気づき）

第25回：個と集団を活かした保育の方法（保育における個と集団）

【事前学修】教科書エピソードを読み、プリント課題に取り組む

【事後学修】エピソードの理解と、支援と援助を考える（グループワーク）

第26回：個と集団を活かした保育の方法（保育における個と集団）

【事前学修】子どもが遊ぶという意味の考えをプリント課題に取り組む。

【事後学修】授業内容をノートにとり、主体的に遊ぶことで育まれる質を理解する。

第27回：配慮を要する子どもの理解と保護者対応

【事前学修】教科書を読み、「気になる」とはを考える。

【事後学修】配慮を要する幼児とはを授業で学び、個人で感じる気になるをグループ意見交換

第28回：配慮を要する子どもの理解と保護者対応

【事前学修】保護者対応のエピソードを評価し、対応の方法を考える。

【事後学修】授業内容をノートにまとめ、エピソードをテーマに討議し気づきや方法を学ぶ。

第29回：インクルーシブな保育の実現

【事前学修】インクルーシブ教育を予習する。

【事後学修】インクルーシブ教育と対応を学び、プリント課題に取り組む。

第30回：まとめ・定期試験対策

【事前学修】教科書を振り返る

【事後学修】保育者における保育の方法として専門職としたイメージを持つことができたかを考える。

○テキスト

「保育方法・指導法」 著者：大豆生田 啓友 他 ミネルヴァ書房

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省 フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省 フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館

「信頼関係をつくる保護者対応」 監修：山内紀幸 著者：遠藤清香 （一藝社）

○参考書・参考資料等

「エピソード記述で保育を描く」（鯨岡 峻著） 「気になる保護者」（守 巧著）

○学生に対する評価

学習授業への関心・態度（20％） 課題解決への取り組み（30％） 定期試験（50％）